

公明党再要望項目一覧

令和2年度11月補正分

要望項目	左に対する対応方針等
<p>○米子鬼太郎空港の国際化を推進するにあたり、新型コロナウイルス感染予防対策を強化するために空港施設整備の充実、C I Qの整備体制充実を推進すること。</p> <p>また、感染防止のための空港施設整備は鳥取砂丘コナン空港も含めた国内線でもおこなうこと。</p>	<p>水際対策に係る新型コロナウイルス感染症検査体制の充実等については、全国知事会から国の責任において検査体制の強化等を図るべきと国に申し入れを行っているところであるが、施設整備については、現状の施設配置等を勘案し、動線を工夫するなどの3密を回避する取組等について CIQ 等国機関や米子空港ビルと協議していく。</p> <p>なお、米子鬼太郎空港においては、新型コロナウイルス感染防止対策として、現在、アルコール消毒液の設置や待合座席の間隔の確保、国内線到着客への検温用サーマルカメラ設置等の対策を実施している。</p> <p>鳥取砂丘コナン空港においても米子鬼太郎空港と同様な感染予防対策を実施しているが、今後、搭乗者数の回復を見ながら、さらなる感染予防対策や過密を避けるための施設の運用について、空港運営権者及び定期便運航者と協議していく。</p>
<p>○鳥取県立農業大学校への農業高校教諭の派遣を再開すること。</p> <p>現在中止されている農業大学校への農業高校教諭の1年間派遣は、大学校へ高校の現職教員を派遣することで専門的な知識や技術を学び、指導力の向上に資する目的で実施されていた。高校での農業人材育成を進めるためにも、鳥取県立農業大学校への農業高校教諭の派遣を再開すること。</p>	<p>鳥取県立農業大学校への農業高校教諭の派遣については、平成 29～30 年度の2年間実施していたが、農業高校教諭の人員が不足していることから、令和元年度以降は派遣を見合わせていた。</p> <p>来年度については、教員人事の状況や採用状況等も勘案しながら、あり方を検討していく。</p>